

<メッセージ内容>

皆さんこんにちは。川西市長の越田謙治郎です。

本日は、ごみの減量を考える市民ミーティングにご参加をいただきまして、ありがとうございます。
今日の市民ミーティングの開催にあたりましては、5,000 人の方に無作為抽出という形でランダムにご案内を送らせていただきました。そして、14 地区の会場に参加いただける方にお集まりいただき、市民同士で話し合っていたり場所として設定させていただきました。

今日の話合っていたきたいテーマというのは、大きく3点ございます。

1点目は、私たちとして、今、ごみの減量化を進める上で、市民の皆さんにぜひご協力をいただきたい。どのような具体的な取組ができるのか。この点について議論をいただきたいというふうに思っています。

川西市では、令和6年度から8年間の計画として、一般廃棄物処理基本計画を策定をいたしました。この計画では、8年間で、一人あたり一日のごみの排出量を 91 グラム減少させる、目標を設定をいたしております。

限りある資源を有効に活用し、持続可能な循環社会をつくっていく。これが私たちの目指す社会像です。
そのために、市民の皆さん、お一人おひとりにどのような形でご協力をいただけるのか。特に、大きな課題となっている家庭ごみの減量化について、皆さん自身の取組の状況について、どうやったら取組が進むのか。こういった点についてご議論をいただき、私たちに提案をいただきたいと思っています。

2つ目は、ごみの有料化について、皆様からご意見をいただきたいということです。ごみ減量化の大きな手段の1つとして、私たちは今、ごみの有料化について検討を進めております。これは皆さんが出すごみ袋を指定ごみ袋という形で、私たちが指定をさせていただき、そこに一定の手数料を付加した形で購入をいただく、このような方法で今検討を進めております。

ただ、市民の皆さんの生活に直結するこの課題です。市民の皆さん同士でご議論をいただき、こういった方法だったら実施ができるのか。皆さんが心配するところはどういったところなのか。こういった点について、我々にご意見をいただきたいというふうに思っています。

私たちとしては、ごみの減量化を進める上でも、また、負担の公平性を確保する上でも必要な取組だとは思っておりますが、実施にあたりましては、皆さんとの対話を大切にしながら進めていきたいと考えております。

3つ目は、今回のごみの減量化やごみの有料化、こういった議論を通じて、市民の皆さんの身近な課題であるごみ問題、様々な課題に対応していく施策を展開していきたいと(考えています)。この展開をしていく施策について、皆様からご意見やご提案をいただきたいということです。

ごみの問題を何か解決しようと思えば、当然財源が必要となってきます。この必要な財源につきましては、ごみの有料化で得られた財源を市の財政健全化のために使うのではなく、市民の皆さんのサービスに直接還元をしていきたいと思っています。

皆さんが生活する上でのごみ問題。ごみを排出をする上で、こんなことが課題なんだ。こんなふうな取組があれば、もっと私たちの生活は良くなるんだ。こういったことを皆さん同士で話し合っていていただき、私たちに提案をいただきたいと思っています。

今回の市民ミーティングは多数決をして、何かを決定するという場所ではありません。私たちが決定をする、そして議会の皆さんに諮っていく、そのプロセスにおいて、まずは皆さんから具体的な提案をいただきたい、そのような思いでこの場所を設定をさせていただきました。皆さん同士でごみの減量化について、自分事としてとらえていただき、そして私たちにご意見をいただければと思います。

今日が、皆様方にとって素晴らしい時間になりますことを心から期待をいたしまして、私からの冒頭のご挨拶をさせていただきます。

本日はどうかよろしくお願いいたします。